

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム 第2564回		7月28日
吉岡宏美ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム 第2563回		7月21日
クラブ協議会		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

・ こんにちは
みなさんは梅雨明け十日という言葉をご存知ですか。昔は梅雨明けすると十日間くらいは晴れの安定した天気が続くというものです。今年は近畿東海が梅雨明けしたというのに四国は後回しで昔より天候が暗転しませんが暑さはこれからです。みなさんもお身体に気をつけてください。

さてこの火曜日には55周年記念事業委員会のファイヤーサイドミーティングが開催されました。12名もの多くの会員に参加いただき活発な意見交換がなされました。当然のことながら全員一致での議決ばかりではなく時には反対する意見も出ました。なので全ての議題が結論を見ませんでした。これこそが歓迎すべきことだと思います。一業種一会員の原則がから始まったロータリーが多様な価値観と考え方の集団であることから、同じ考え方でまとまる方が不自然でありダイバーシティこそ価値があることです。ただしお互いの価値観を尊重し耳を傾ける姿勢だけは失わないようにこの1年間、大いに議論しあいましょう。

また一昨日は新入会員へのインフォメーションを委員長の有友会員、加藤会員、島谷会員と同席で行うことができました。例会前のわずかな時間を割いてのインフォメーションとは異なり食事をしながらのゆったりとした時間で行うことができ、お互いに理解が深まったと思います。自分のことを考え

ると1年以上かかって得た知識以上のことをシステムティックにご理解いただけたものと思います。

このようにここ数ヶ月はよい頻度でファイヤーサイドができております。例会とは違ってインフォーマルな場であるからその意見が出やすいように思います。例会ではじっくりと話ができなかった会員とも意見交換することで数多くの意見を頂戴しております。

今日は例会後に理事会がありますがそれとは別に来月初めには拡大理事会として理事、各委員長さまに加えて若手の会員に参加頂き拡大ファイヤーサイドを考えております。またご案内差し上げますのでよろしくお願い致します。

これらの意見を今年一年かけて集約していきます。ただし主役は会員全員 みなさまです。全員でロータリー活動を楽しみましょう。

吉岡幹事報告

- ① 次週ガバナー来訪です。グリーンジャケットの着用をお願いします。
- ② ロータリー文庫Webサイトのご案内 活用をお願いします。
<https://www.rotary-bunko.gr.jp/>
ユーザー名・パスワードは幹事・事務局にお聞きください。
- ③ 「いのちの電話」ご覧ください

7月28日 今日は何の日	今日生まれの有名人	
阿蘇御田祭り/水路記念日	1966年	スガシカオ
1807年 文庫本の元祖・レクラム誕生	1948年	大滝詠一
1947年 民芸結成	1945年	セルジオ越後
誕生花	1944年	渡瀬恒彦
誕生石	1923年	渡辺美智雄
	1897年	是川銀蔵
誕生花	リンデンバウム、花言葉は“夫婦の愛”	
誕生石	翡翠(jade)、宝石言葉は“幸運”	

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



今週のプログラム

「クラブ協議会」

木内55周年記念事業委員長
有友ロータリー情報委員委員長
住谷米山記念奨学委員長
江島クラブ奉仕委員長
低田出席委員長
村上ロータリー財団委員長
泉谷友好縁組担当委員長
堀井SAA
入谷プログラム副委員長
吉本IT・広報委員長

※レジメなどありましたらプログラム委員会・担当者と打ち合わせの上お送りください。
その他連絡事項がありましたら送付してください。

回覧

- ①出欠確認用紙
- ②ロータリー文庫案内文
- ③「いのちの電話」ご覧ください。

ニコニコBOX

高松グリーンロータリーです。よろしく。	福島様
高松グリーンロータリーです。よろしく。	山田様
高松グリーンロータリーです。よろしく。	川畑様
一年間、宜しくお願いします。	吉岡
加藤さんバイブルありがとうございます。	吉岡
今日もいい天気ですね。宜しくお願いします。	木村
誕生日プレゼントをいただいて。	堀井
早退	1件

合計 8 件

本日の合計 28,500 円

2023-2024年度累計 64,500 円

出席報告

出席委員長：低田陽介

会員数 / 41名	出席規準数 / 39名
出席者数 / 21名	欠席者数 / 18名
出席率 / 53.85%	ビジター / 3名
最終出席率 / 6月30日 75.61%	→ 78.05%

ビジター

高松グリーンRC 会長 福島 秀孝 様
幹事代行 山田 祐司 様 川畑 美佐子 様

メイクアップ

7月11日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
7月18日 高松中央RC 藤田
7月18日 丸亀東RC 岡田
7月20日 高松RC 島谷 石川 堀井 泉谷 白川 藤田

2023-2024年度 第1回 定例理事会

- 日時 2023年7月21日
場所 JRクレメントホテル高松例会場
出席者 磯崎、遠藤、江島、村上、吉岡、堀井、大西、川口 岩本（オブザーバー）
- 議題
- ① 新会員さんのクラブジャケットについて ウミショーに引き継ぎ →製作する
 - ② 会員手帳 名簿 製作について →製作する
 - ③ ミリオンダラーミールの開始時期、料金設定、回数等 →クレメントでの夜間例会開催の月 月 1回 1800 円
 - ④ 8月の第3週が休会ため、8月の理事会開催日の確定 →8月25日確定
 - ⑤ 高松東クラブとの交流について →会長幹事が例会に訪問し 前向きに検討する
 - ⑥ 子ども落語について →クリスマス例会に出演して頂く
 - ⑦ 新会員卓話 →一人10分ぐらいにして再プログラムミング
 - ⑧ LINE グループ設定 二つくらいに集約しては →保留 検討 (LINE の使い方)
 - ⑨ 例会における合意について →例会時の方向を受け理事会で確定させる
 - ⑩ 例会の出欠確認と食事の発注数について →回覧による確認を止め、メールとFAXに絞り、発注数を最小限に止め、出席者オーバーによる不足分は食事券を発行する
 - ⑪ 来週のガバナー公式訪問に際して出席の呼びかけについて →理事会メンバーも積極的に誘う足分は食事券を発行する

報告事項 55周年事業コンパクト化を計っていたが、友好クラブ来訪者数の状況により再検討
知事、市長、ガバナー ガバナー補佐2名 5名の招待状発送する。
納涼家族例会とクリスマス例会時には、新会員を紹介をして、一言、スピーチをもらう。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。

次週のプログラム

第2565回

8月4日

納涼家族会（夜例会）

担当者 親睦活動委員長

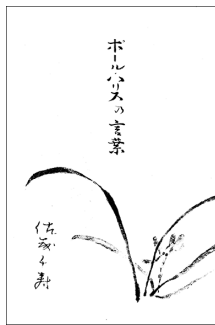
例会場 JRホテルクレメント高松

ポール・ハリスの言葉

ロータリー情報委員会
加藤和理

会員各位

ポール・ハリスの名著 “This Rotarian Age” の中から故佐藤千寿PGが選りすぐった箴言、名言28を、解説を付けて出版した「ポール・ハリスの言葉」から順次ご紹介いたしますので、お読み頂ければ幸いです。



1. 自国に忠実な市民たれ

No one ever rises in the writer's esteem through disloyalty to his country, wheresoever it may be. One ought to love his country so well that he will resolve never to create enemies for it, nor subject his fellow countrymen to ridicule through proclaiming the land of his allegiance, "God's own country". One may manifest his own ignorance in that manner, but insult is a poor means of winning friendship.

母国に忠誠を尽くさぬ者が他から尊敬されるはずはない。人は皆母国に敵を作らぬ様に配慮し、敬愛する母国を「神の国」などと広言して相手国を見下し従わせようなどとは決してせず、真面目に母国を愛すべきである。そんな態度で自分の無知をさらけ出す人も居る様だが、無礼な言動で友情を求めんとするのは何とも卑劣な手段である。

国際的組織であるロータリーに於ては、国境を越えた友愛連携を奉仕の大眼目にしている。然しその前提として、「各ロータリアンは、自国の忠実かつ勤勉な市民となるよう期待されている」というのが、ロータリー創立以来、今なお厳として変らぬ鉄則である。だから国際ロータリーは、それぞれの国の法律や慣習を優先的に尊重し、国によってはロータリー・クラブという名称をさえ使わなくてよい、と言っている(R・I定款 § 5-3e)

然し、自国を誇りにするのはいいが、それが思い上がった優越感であってはならない。当時、我がアメリカの新天地こそ “God's own country”、だと胸を張って言う人があって、ポールはそれを憂えたのかも知れない—いや超大国化した現代アメリカなら、なおそう思う人があっても不思議ではない。今や国際規準とはアメリカ規準に外ならぬ、という事態になって来ている。

もともと曾ての日本だって同罪で、「神国日本」などと思ひ上り、「鬼畜米英」と相手を罵倒したではないか。それでいて今度は、捏造情報まで取り上げて、日本を極悪非道の犯罪国家と糾弾し、それを手柄にしたがっているマスコミや所謂進歩的文化人なるものが跡を絶たない。中でもひどいのは、日本人はホッテントツと同じだ、などと本に書いて出版した外交官だ。日本の外務省というのはこんな程度の人を国の代表として海外に派遣しているのだから、国の威信も何もありはしない。

またポールの言う「無礼な言動で友情を求めんとする」輩も沢山居る—更にこの言葉は、これを我々の交友関係に当てはめてみると一層興深い。この所の訳文は、「ひとの悪口を言って相手の歓心を買おうとする最も卑しい心情」と言い替えてみればなお解り易い。殊に今の世は、何事も他人に責任転嫁して自分を正当化しよう、という風潮である。こういう時こそロータリーの「四つのテスト」を反覆唱する必要があるろう。

ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が地区内の各ロータリークラブを、個々のクラブまたは複数クラブのグループとして、以下のような目的をもって訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる
- ・弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関心を払う
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守していることを確認する
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する

ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にクラブ目標への進展状態を確認すべきである。訪問は、ガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝達式、入会式、新会員オリエンテーション・プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市連合会合などの行事とあわせて行うべきである。多クラブ合同、あるいは都市連合会合においては、ホストクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強調すべきである。ガバナーはまた、地区がクラブをより効果的に支援する方法について、クラブからの意見を求めるべきである。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



世界に希望を生み出そう

The Rotary Club of Takamatsu West